

認定

教育委員に小林浩行氏



▲関本一雄氏

□芳賀町教育委員会委員の
任命について
平成29年10月31日付けを

て
平成29年10月31日付けを
もって任期満了となる関本一
雄氏(上延生)を引き続き最
適任者として選任すること
を議員全員が同意しました。

同意

□芳賀町固定資産評価審査
委員会委員の選任につい

もって任期満了となる小林浩
行氏(西水沼)を引き続き最
適任者として任命すること
を議員全員が同意しました。



▲小林浩行氏

報告

□公益財団法人芳賀町農業
公社の経営状況説明書の
提出について

□芳賀町ロマン開発株式会
社の経営状況説明書の提
出について

条例

□芳賀町附属機関に関する

地方公共団体の財政の健
全化に関する法律に基づき、
監査委員の意見を付して報
告するもの。
(質疑なし)

□平成28年度健全化判断比
率及び資金不足比率につ
いて
増渚さつき議員、小
林一男議員、水沼孝夫議員

両法人の経営状況を説明
するため、平成28年度の事
業実績及び決算を報告する
もの。
[質疑] 増渚さつき議員、小
林一男議員、水沼孝夫議員

契約

□工事請負契約の締結につ
いて(平成29年度芳賀高
跡地整備事業道路整備工
事(分割1号))
○契約金額
5832万円
○契約相手方
芳賀町大字祖母井797

地方公共団体の財政の健
全化に関する法律に基づき、
監査委員の意見を付して報
告するもの。
(質疑なし)

障害者基本法に基づく障
害者計画等を策定するに当
たり、芳賀町障害者計画等
審議会を設置するため、条
例の一部を改正するもの。
(質疑・討論なし、原案可
決)

○契約金額
6026万4千円
○契約相手方
芳賀町大字祖母井763
番地3
株式会社小金建設
代表取締役 小金幹典

□工事請負契約の締結につ
いて(平成29年度芳賀高
跡地整備事業道路整備工
事(分割2号))
○契約金額
6026万4千円
○契約相手方
芳賀町大字祖母井763
番地3
株式会社小金建設
代表取締役 小金幹典

番地9
株式会社交建
代表取締役 小出利幸
[質疑] 小林一男議員
(討論なし、原案可決)

第4回 芳賀町議会 定例会

の要 例会 定概

平成29年第4回芳賀町議会定例会が9月4日から14日までの11日間の会期で開
催されました。
第1日目は全議案を上程し、町長から提案理由の説明を受け、監査委員から決算
審査の報告を受け、同意案件を採決、発議案件の趣旨説明、質疑・討論・採決をし
ました。
一般質問は、第3日目に行われ、3人の議員が町政について質問しました。
第4日目に平成28年度決算を除く議案の質疑・討論・採決を行い、第5日目に平
成28年度の決算についての質疑を行った後、決算審査を常任委員会に付託し、第9
日目まで決算審査を行いました。
最終日に平成28年度決算を原案どおり認定し、閉会しました。

平成29年第4回芳賀町議会定例会提出議案



平成28年度決算を

固定資産評価審査委員に関本一雄氏、

意見

□軌道敷設工事施行認可申請に係る道路管理者の意見について
 栃木県知事から軌道敷設工事施行認可申請に係る道路管理者として意見を求められたもので、これを議員全員で可決しました。

補正予算

□平成29年度芳賀町一般会計補正予算(第2号)
 総額に975万6千円を追加し、予算総額を73億4994万1千円とするもの。
 (質疑) 岩村治雄議員、増渕さつき議員
 (討論なし、原案可決)

□平成29年度芳賀町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
 総額に1126万2千円を追加し、予算総額を23億3526万2千円とするもの。
 (質疑) 小林俊夫議員
 (討論なし、原案可決)

□平成29年度芳賀工業団地排水処理センター特別会計補正予算(第1号)
 総額に629万6千円を追加し、予算総額を5639万6千円とするもの。
 (質疑) 小林隆志議員
 (討論なし、原案可決)

認定

□平成29年度芳賀町介護保険特別会計補正予算(第2号)
 保険事業勘定の総額に5260万3千円を追加し、予算総額を14億3360万3千円とするもの。
 (質疑) 小林俊夫議員
 (討論なし、原案可決)

□平成28年度芳賀町一般会計、芳賀町国民健康保険特別会計、芳賀町農業集落排水事業特別会計、芳賀工業団地排水処理センター特別会計、芳賀町介護保険特別会計、芳賀町

公共下水道事業特別会計、芳賀町祖母井南部土地区画整理事業特別会計、芳賀町宅地造成事業特別会計及び芳賀町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

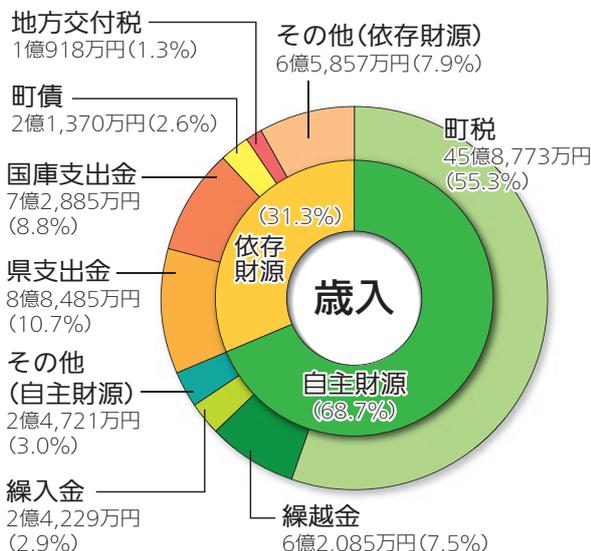
平成28年度は、第6次芳賀町振興計画の初年度でした。町では、「躍動する芳賀の町 未来につなげよう」を実現するため、「便利をつなげる」「教育をつなげる」「話題をつなげる」「笑顔をつなげる」「地域をつなげる」の5つの分野を設定し、事業が実施されました。

平成28年度各会計決算の状況

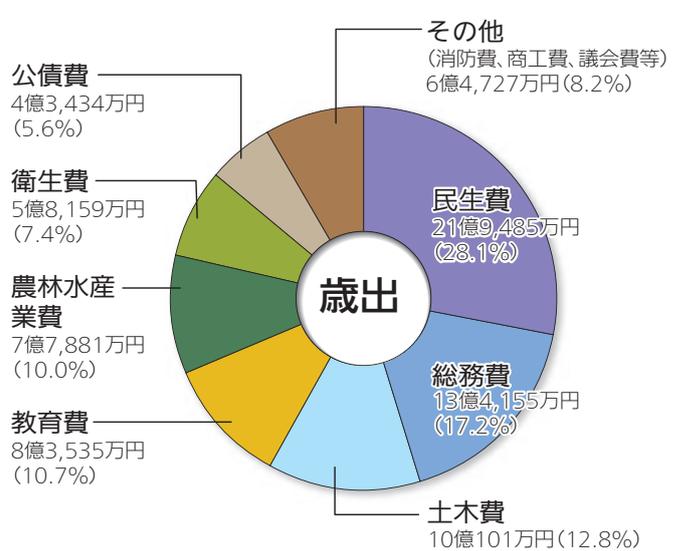
会計別	歳入	歳出
一般会計	82億9,323万4千円	78億1,477万2千円
国民健康保険特別会計	23億6,482万0千円	21億9,943万5千円
農業集落排水事業特別会計	1億9,417万2千円	1億8,408万1千円
芳賀工業団地排水処理センター特別会計	8,006万9千円	7,615万7千円
介護保険	13億7,986万6千円	13億1,602万8千円
特別会計	1,378万6千円	1,250万9千円
公共下水道事業特別会計	2億8,359万3千円	2億6,510万3千円
祖母井南部土地区画整理事業特別会計	6,336万1千円	6,238万8千円
宅地造成事業特別会計	4,110万5千円	4,014万3千円
後期高齢者医療特別会計	1億4,116万4千円	1億3,584万6千円
計	128億5,517万0千円	121億646万2千円

一般会計決算の状況

歳入 82億9,323万円



歳出 78億1,477万円



平成28年度末の町債(借入金)と基金(貯金)の状況(一般会計分)



項目	金額	町民一人あたり※
町債残高	25億8,682万8千円	約16万3千円
基金残高	25億4,411万5千円	約16万円

※平成29年3月31日の人口15,877人で算出。
千円未満は四捨五入。

5つの「つなげる」の主な事業

便利をつなげる

LRT整備の推進
(用地測量・環境調査など)
決算額：1億3,630万円



教育をつなげる

認定こども園整備のための補助
決算額：2億842万円



話題をつなげる

芳賀町産農産物ブランド化の推進
決算額：434万円



地域をつなげる

消防団詰所改修工事
決算額：648万円



笑顔をつなげる

芳賀赤十字病院建設費補助
決算額：3,641万円



平成28年度予算執行も健全財政を堅持された町政経営が進められたものと思えます。平成28年度に引き続き平成29年度も普通交付税の不交付団体になりましたが、財政的に余裕があるわけではないことを認識し、新たな財源確保の施策を講じるなど歳入の確保に努め、最小の経費で最大の効果を生み出すことができるよう願っています。

平成28年度も対応できる財政運営に努める必要があります。財源確保が厳しい状況が予想されますが、生活基盤となる道路・橋りょう、また老朽化した施設などの整備改修についても計画的な財政運営により願っています。

借金である本町の地方債の残高は、一般会計と4つの特別会計で、約54億1891万円、年々計画的な減少が見られ、執行部の運営の姿勢と努力の跡が見受けられます。引き続き長期的な視野に立ち、健全な運営に併せ、老朽化するインフラの更新や財政の拡大につながる必要な投資は、積極的に実施していき、後世への負担軽減をお願いします。



▲水沼孝夫監査委員



▲樋田貞夫代表監査委員

本町の財政は、比較的健全に運営されており、各種事業など歳出についても、計数的な過誤もなく、適切で誠実に執行されていきました。また、第6次芳賀町振興計画の初年度である平成28年度の重点施策についても概ね計画どおり良好に執行されていきました。

本町の平成28年度単年度財政力指数は1.024、健全化判断比率は、実質公債費比率3.0%、その他の判断比率は該当なし。資金不足比率も該当はありません。なお、自主財源比率は68.7%です。

財政の根幹をなす町税については、昨年度より2.5%増の約45億8773万円の収納となりました。今後は、大型事業の計画もあり、財源の確保は不可欠なものとなりますので、人口減少社会の進展や社会情勢

監査委員意見

最小の経費で最大の効果を

平成28年度 決算の 主な質疑

 増淵さつき 議員

問 中学生海外派遣事業が平成28年度で終了となったが、これまで何人の中学生を派遣し、どういった経緯で終了となったのか。

答 こども育成課長 中学生の派遣は22回、累計で379人です。終了までの経緯については、生徒全体に効果を及ぼすことが難しいこと、個人負担もあるので経済的に恵まれない子が応募しづらいこと、国際情勢の状況もあって生徒の安全確保を考慮したものです。

 大根田周平 議員

問 農業担い手育成支援費の不用額500万円の理由は。

理由は。

答 農政課長 施設園芸ハウス設置事業費補助金の申請を予定していたものを待っていたのですが、年度末申請に至らず、1件の申請のみになったためです。

 水沼孝夫 議員

問 給食における地産地消比率が下がってきているが。

答 こども育成課長 生産者の高齢化などにより、町内からの納入が少なくなっているのが現状です。道の駅に農産物を集めそこから学校給食に提供するようなシステムを現在構築しておりますので、農政課とともに取り組んでいきたいと思えます。

 岡田年弘 議員

問 農地集積支援事業費の交付金の内容、実績について問う。

答 農政課長 町土地改良区北部第1地区エリアにおいて、農地中間管理事

 岩村治雄 議員

業の中の地域集積協力金という交付金です。171人に合計2652万円の支出をしています。面積は176・3ヘクタールで県最大の面積です。

問 町税の不納欠損について、欠損理由を問う。

答 税務課長 5年時効によって欠損処理したものの、もうひとつは滞納処分する財産がない、又は不明なもの、生活が著しく窮迫して生活保護になったものについては、執行停止をかけた後、3年間そのような状況が改善されない場合は欠損処理をしています。

 小林一男 議員

問 家屋敷課税とはどのようなものか、芳賀町はどのような状況なのか問う。

答 税務課長 芳賀町に住んでいなくても家屋敷を有している限り行政上の施策によって防犯防災、環境衛生、消防などの行政

 小林信二 議員

サービスを受受しているとサービを享受しているという概念から町民に準じた立場ということで、町県民税の均等割分を課税するものです。芳賀町では10月中旬に対象者を確定し、納付書を発布する予定です。

問 祖母井南部土地区画整理事業特別会計の保留地処分収入、宅地造成事業特別会計の土地売却収入の内容について問う。

答 都市計画課長 保留地処分収入につきましては、県道バイパス沿いにある329・2㎡の土地の売却収入です。土地売却収入については、県道バイパス沿いの289・8㎡と真岡信用組合隣接の412・2㎡の土地の売却収入です。

 杉田貞一郎 議員

問 スポーツ教室運営費の報酬の不用額について内容を問う。

答 生涯学習課長 今まで要請が多かったニュー

 小林俊夫 議員

スポーツに関する出前講座、教室の実施が少なかったこと、天候不良による教室の中止があったこと、当初の計画より開催が少なくなってしまった教室があったことによるものです。

問 戦略的果樹産地拡大支援事業と梨栽培拡大事業についてあと何年くらい継続するのか。

事業についてあと何年くらい継続するのか。

答 農政課長 戦略的果樹産地拡大支援事業は、最先端の技術を使ったジョイント栽培などを支援する県の事業ですが、平成29年度、30年度も継続予定であると聞いています。梨栽培拡大事業は町単独の事業で、3年間の継続事業ということで生産者にも周知を図っていききたいと思えます。



※数字は議席の番号です

常任委員会決算審査

総務・教育民生・産業建設常任委員会は9月8日から12日まで、平成28年度一般会計及び特別会計決算の書類審査と現地調査を行いました。

各委員会は、9月14日の本会議において決算を認定とする審査報告をしました。

総務常任委員会

□書類審査（9月11日）

総務課、企画課、税務課、会計課、議会事務局、監査委員事務局

□現地調査（9月12日）

役場庁舎、東高橋消防センター、エコフォレスト（最終処分場）

□審査の意見または特に留意すべき事項

①現在、町内各地域の消火栓に「ホース格納箱」が設置されているが、設置から20年以上経過し、老朽化が進んでいるものがあり、老朽化した消火ホースを使用すると破裂や漏水の恐れがあり非常に危険である。今後、その必要性と管理責任を明確にし、更なる地域防災の安全・安心を推進し万全を期されたい。

②庁舎内の光熱費については、昨年度の空調設備の改修により効果が出ているようである。今後、更に光熱費を改善するため、あらゆる情報に高いアンテナを持ち、情報をキャッチする努力を怠らず、最善の効果を出すことに努められたい。



▲審査の様子



▲現地調査（役場庁舎）

教育民生常任委員会

□書類審査（9月8日、11日）

住民課、健康増進課、福祉対策課、環境対策課、こども育成課、生涯学習課

□現地調査（9月12日）

のぶ幼稚園、海洋センター、はが介護サービス、はがの杜、エコフォレスト（最終処分場）

□審査の意見または特に留意すべき事項

①健康づくり事業におけるウェルネス運動教室は、平成25年10月に始まり、参加者数等の実績も順調に推移しており、参加者の意欲も高い。一方、地域での健康づくりを推進するために、各地域における自主活動団体数を増やす方策も検討されたい。

②中学生海外派遣事業は、平成7年度から平成28年度までの22年間、379人もの中学生を海外へ派遣してきた。平成28年度、事業の最終年となったが、これまでの成果を検証し、語学力の向上はもとより、国際理解教育、国際交流教育の推進のためにも再考されたい。



▲審査の様子



▲現地調査（はがの杜）

産業建設常任委員会

□書類審査（9月11日）

農政課、商工観光課、建設課、都市計画課

□現地調査（9月12日）

打越新田地区ほ場、かしの森公園周辺、大塚・鷲の谷線、下高根沢地内畜産クラスター事業、芳賀高跡地周辺

□審査の意見または特に留意すべき事項

芳賀町第6次振興計画や都市計画マスタープランによると、LRT整備や祖母井中部・北部地区整備、芳賀高跡地周辺宅地整備、工業団地拡張、北部第2地区再ほ場整備事業など大型事業が予定されている。なかでも芳賀高跡地周辺地区は、町内工業団地就業者等の住宅需要に対応した良好な住宅団地「祖陽が丘」を創出することで、定住促進策として期待されることから、一日も早い工事完成、分譲開始が重要である。組織横断的な体制や人員配置について考慮し、周辺環境にも配慮した事業の円滑な推進に取り組まされたい。



▲審査の様子



▲現地調査（かしの森公園周辺）